

# 久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 232号

平成24年4月25日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で...

久慈農業改良普及センター 公式

検索

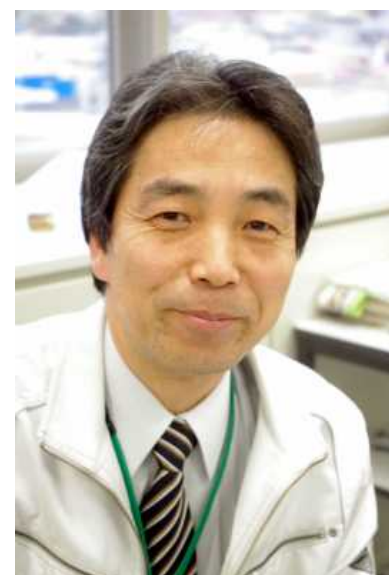
## 新年度を迎えて ~ 所長あいさつ ~

東日本大震災から1年経過し、甚大な被害からの復旧・復興がますます急がれています。被災された皆様に対しましてあらためて心からお見舞い申し上げます。

新年度よりお世話になっております所長の高橋英明と申します。前任地は農業大学校でしたが、新たな気持ちで活動して参りますのでよろしくお願いいたします。

また、当普及センターでは今回の定期人事異動により、新採用を含む職員6名が加わり、若手からベテランまで17名の職員がそれぞれ新たな気持ちで新しい年度の第一歩を踏み出しています。一年間どうぞよろしくお願い致します。

さて、新年度に当たって普及活動の目標4項目についてお知らせし、職員一同頑張参ります。



所長 たかはし ひであき 高橋 英明

1 被災地の早期営農再開と新たな農業復興を目指して取り組みます

2 意欲ある多様な経営体を育成に努めます

地域を担う新規就農者の確保育成や活力ある集落型経営体の育成に取り組みます。

3 産地力を強化しよう

ほうれんそうを核とした園芸産地の確立に取り組みます。

環境保全型農業を推進し、安全安心な農産物生産、産地育成に取り組みます。

4 農村の活性化のために

地域特産品を活かした起業活動を支援していきます。

産地直売所の活性化に取り組みます。

食文化を活かし農村の魅力発信による活性化に取り組みます。

昔、大学の先生が普及のことを以下のように表現していました。

「普及は人を耕し、人が大地を豊にする」

「普及は組織を耕し、組織が地域を豊に耕す」と

地域の特性を活かしたいろんな素晴らしい「種」は、地域の皆さんが主体的となって播きます。我々普及員は、どんな種を播いても力強く丈夫に育つ土壌、畑を地域の皆さんと一緒に作り、農家に信頼・愛される普及員を目指してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



寒次郎

久慈地方寒じめほうれん  
そうイメージキャラクター

## 平成24年度 久慈農業改良普及センター活動体制


















今年度も昨年と同じ17名体制で、意欲ある多様な経営体の育成、農業の産地力強化、農村の活性化支援の3本柱をメインテーマとし、地域課題の解決のためチームの連携により農業者に対する支援を進めてまいります。

### 人事異動情報

今回の人事異動により久慈農業改良普及センターから転出された方は以下のとおりです。

|         |       |                           |
|---------|-------|---------------------------|
| 所長      | 高橋寿一  | 退職                        |
| 普及課長    | 佐藤正昭  | 宮古農業改良普及センター（宮古市）         |
| 上席農業普及員 | 大里達朗  | 県北農業研究所（軽米町）              |
| 上席農業普及員 | 伊藤美穂  | 中央農業改良普及センター（北上市）         |
| 主任農業普及員 | 佐々木利枝 | 二戸農業改良普及センター（二戸市）         |
| 農業普及員   | 高橋大輔  | 宮古農業改良普及センター岩泉サブセンター（岩泉町） |

【 職員分担 】 各課長は ~ のチームの担当です。(新)転入

|   |   |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|
| マネジメントグループ  | <br>(新)所長<br>高橋 英明        |  |   |  | <br>技術主幹兼普及課長<br>白木 正範<br>(農村活性化チーム) |  | <br>(新)普及課長<br>中村 英明<br>(担い手育成チーム) |  | <br>普及課長<br>高橋 好範<br>(産地育成チーム) |  |
|   | チーム長  |  | メンバー  |  |  |  |   |  |  |  |
| 担い手育成チーム<br>・ 新規就農者、認定農業者の育成<br>・ 集落型経営体の育成<br>・ 稲作の省力・低コスト化と耕畜連携   | <br>(新)上席農業普及員<br>櫻田 弘光  |  | <br>主査農業普及員<br>吉田 昌史 |  | <br>農業普及員<br>菅 広和                  |  | <br>技師<br>熊谷 志紀子                 |  |  |  |
| 産地育成チーム<br>・ ほうれんそうなど園芸の産地育成<br>・ 土地利用型野菜<br>・ 売れる米づくり<br>・ 環境保全型農業 | <br>(新)主任農業普及員<br>藤澤 由美子 |  | <br>主任農業普及員<br>小川 陽  |  | <br>(新)農業普及員<br>佐藤 武博              |  | <br>農業普及員<br>洞口 博昭               |  | <br>(新)技師<br>村上 大樹            |  |
| 農村活性化チーム<br>・ 産直起業支援<br>・ 地産地消・食文化の推進<br>・ 地域特産品目の振興                | <br>上席農業普及員<br>三浦 晃弘     |  | <br>主査農業普及員<br>小田 豊  |  | <br>主任農業普及員<br>成田 恵美               |  | <br>技師<br>菊池 奈美                  |  |  |  |

## 今年度の転入者(6名)の自己紹介

【 名前 出身地 担当 前任地 ひとこと】

名前：高橋 英明(たかはし ひであき)

出身地：北上市

担当：所長

前任地：農業大学校

ひとこと：沿岸は宮古農業改良普及センターに次いで2回目です。

久慈地域の良さを沢山発見して地元の皆さんと共有、感動したいと思います。

名前：中村 英明(なかむら ひであき)

出身地：盛岡市

担当：普及課長(担い手、集落営農推進)

前任地：県南広域振興局農政部

ひとこと：担い手育成の業務では、当地域と一緒に取組んだこともあります。赴任ははじめてです。皆さんと一緒に、担い手確保に取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

名前：藤澤 由美子(ふじさわ ゆみこ)

出身地：秋田県横手市

担当：産地育成チーム(作物)

前任地：病害虫防除所

ひとこと：普及センター勤務7年ぶりです。わからないことだらけで不安もありますが、ご迷惑おかけしないようがんばります。

名前：櫻田 弘光(さくらだ ひろみつ)

出身地：雫石町

担当：担い手育成チーム

(認定農業者、経営改善)

前任地：八幡平農業改良普及センター

ひとこと：この地域に初めての勤務で、新しいことの発見で興味が大きいです。もとより微力ではございますが、専心努力する所存です。

名前：佐藤 武博(さとう たけひろ)

出身地：花巻市

担当：産地育成チーム

(野菜：ほうれんそうおよびその他野菜)

前任地：岩手県立大学大学院

(政策科学系大学院派遣研修)

ひとこと：初めての久慈です。前々任地は大船渡で主に果菜が中心の地域でした。今回は初めての野菜担当ということで若干緊張しておりますが、少しでもお役にたてるように努力しますので、どうぞよろしくお願いします。

名前：村上 大樹(むらかみ たいき)

出身地：盛岡市

担当：産地育成チーム(野菜)

新採用

ひとこと：まだ、農業に関する知識が不足していますが、出来るだけ現場に出向いて、体を動かして覚えていきたいと思っています。ご迷惑かけると思いますが、よろしくお願いします。



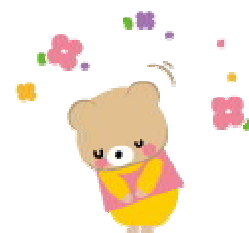
## 長い間、ありがとうございました

岩手県農業農村指導士認定期間満了に伴い、

- ・久慈市の大鹿糠 正さん(平成8年度認定)
- ・洋野町の東大野 清子さん(平成9年度認定)

対しまして知事より感謝状が贈呈されました。

これからも地域内外でのご活躍よろしくお願いたします。



久慈市 大鹿糠 正さんと妻のミツ子さん



洋野町 東大野 清子さん

## 農薬の適正使用について

### 1 農薬を使用する時はラベルの表示事項を守りましょう。

農薬のラベルには、農薬を安全に使用するために必要な情報が書かれています。農薬を使用する前には、必ず農薬の表示事項(農薬使用基準、使用上の注意等)を確認し、守りましょう。

### 2 農薬を使用したら、必ず記録しましょう。

農薬の使用記録は、自分が生産した農産物の記録であり、消費者への信頼確保や効率的な防除の検証などのメリットがあります。また、記録しておくことにより、不適正な使用を未然に防ぐこともできます。

農薬を使用したら、使用月日、使用場所、農作物、農薬の種類、名称、使用量、または希釈倍数等を帳簿に記載するようにしましょう。

# エコファーマーマークの使用停止について

平成 24 年 3 月 21 日

岩手県農林水産部農業普及技術課

エコファーマーマークは、全国環境保全型農業推進会議が平成 15 年に制定、平成 16 年に商標登録し、これまでエコファーマーが導入計画に基づき生産した農産物において使用されてきたところですが、平成 23 年 3 月末で新規の使用が停止されました。

包装材等の在庫を考慮し、猶予期間として 1 年間使用が可能でしたが、今般猶予期間が終了することから、平成 24 年 4 月以降はマークは使用できなくなります。

なお、エコファーマーを認定する制度に関しては、変更ありません。

## 使用停止となるエコファーマーマーク



このマークと誤認される類似のマークも使用しないでください。

マークについて詳しくは、全国環境保全型農業推進会議の HP の「エコファーマーマークについて」をご覧ください。

アドレス <http://www.ecofarm-net.jp/05ecofarmer/index.html>

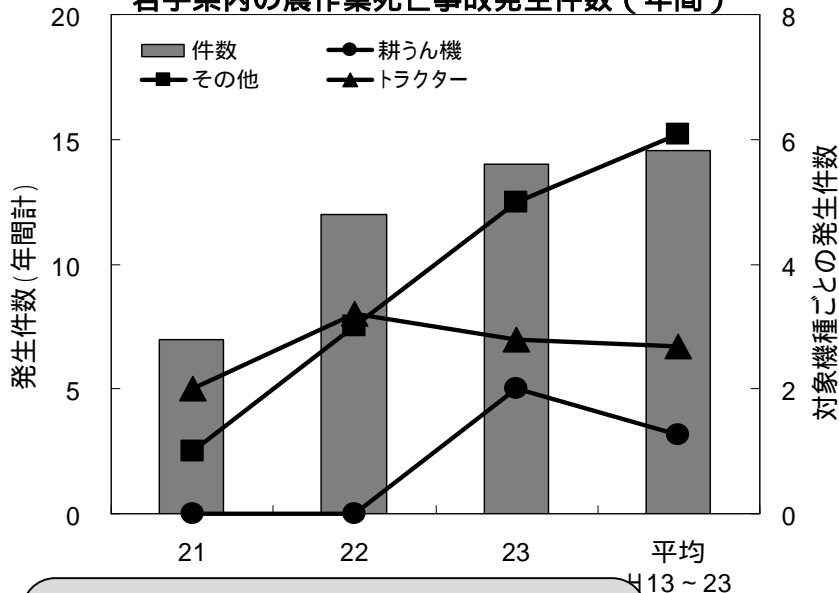
# 春の農作業安全月間です

平成 24 年度農作業安全運動スローガン

**農作業 笑顔の豊作 無事故から**

農作業事故の危険性に対する認識を持ち、事故防止に向けた取り組みをお願いします。圃場内外を問わず事故が発生していることから、道路交通法の遵守や道路上及び敷地内等における事故防止に対しての意識も重要です。

岩手県内の農作業死亡事故発生件数（年間）



## 反射材等の装着

道路上での接触・追突等の事故を防止するため、反射シール、反射材、低速車マークを利用しましょう。

## 農業機械の始業前点検

家庭での安全管理の徹底として、万が一の時のために作業員以外でも農業機械のエンジンを停止できるように動作の確認や、始業前の安全確認を行ないましょう。

## 地域や家庭での取り組み

農作業事故防止に向けて家族ぐるみ、地域ぐるみでの取組みが重要です。日常の『声かけ』を積極的に行ないましょう。

## 昨年度の県内の

## 農作業事故の特徴から

昨年度の県内で発生した農作業中の死亡事故は 14 件、うち久慈管内で 1 件発生しています。例年、農作業死亡事故で最も発生件数が多いのは『トラクター』の運転・作業によるものですが、昨年は 4 件が『野焼き』作業中によるもので火に巻かれ焼死等に至っています。

また、野焼きは山火事の発生原因の一つで、山火事の多くは野焼きやたき火などから発生しています。近年の発生状況からみると、約 7 割が 3～5 月に発生しており、この時期は山火事の危険性が非常に高くなっています。

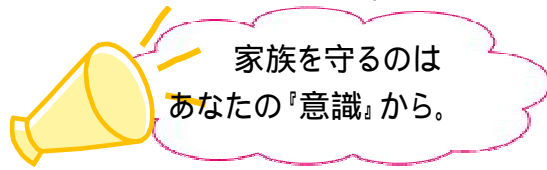
強風時及び乾燥時にはたき火、火入れ、野焼きをしないこと。

枯れ草等のある火災が起りやすい場所では、たき火、野焼きはしないこと。

たき火の場所を離れるときは完全に火を消すこと。

たばこの吸いがらを投げ捨てないこと。

火遊びはしないこと。



# 山火事に注意しましょう!!

